

平成 27 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社タイセイ  
 代表者名 代表取締役社長 佐藤 成一  
 (コード：3359 東証マザーズ 福証 Q-Board)  
 問合せ先 取締役経理部長 野村 弘  
 (TEL. 0972-85-0117)

平成 27 年 9 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値と実績値との差異  
 および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 26 年 11 月 14 日に公表しました平成 27 年 9 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）の業績予想数値と本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、併せまして平成 27 年 9 月期通期（平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）の連結業績予想について下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 9 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値と実績値との差異  
 （平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,395	136	155	90	24.84
実績値 (B)	2,423	161	190	270	74.68
増減額 (B - A)	27	24	34	179	
増減率 (%)	1.2	18.2	22.4	197.3	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 9 月期第 2 四半期)	2,423	177	203	119	32.95

(注) 1 株当たり四半期純利益の算出にあたり、期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社（信託 E 口）が所有している当社株式が含まれております。

## 2. 平成 27 年 9 月期通期連結業績予想数値の修正

(平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,120	106	130	72	19.87
今回修正予想 (B)	4,461	131	164	245	67.74
増減額 (B - A)	340	24	34	173	
増減率 (%)	8.3	22.8	26.2	238.9	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 9 月期)	4,026	70	111	59	16.41

(注) 1 株当たり当期純利益の算出にあたり、期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

## 3. 差異および修正の理由

### (1) 第 2 四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異について

当第 2 四半期連結累計期間(以下、「上半期」という。)において、消費税率引き上げ後の個人消費の動きに力強さがないことから、前回発表の業績予想(以下、「予想数値」という。)の売上高につきましては、前年同四半期と比較して約 1%の減少を見込んでおりましたが、平成 27 年 1 月に周陽商事株式会社を連結子会社化したことにより、同社の 1 月から 3 月までの売上高が加わりましたので、前年同四半期と同水準の売上高となり、予想数値を上回りました。

利益につきましては、当社において過度の販促活動を行わず、子会社において生産性の向上を図ったことで、予想数値を上回ることとなりました。なお、四半期純利益の差異につきましては、主に、平成 27 年 2 月 13 日付けの「特別利益の発生に関するお知らせ」にて公表いたしました取用補償金の一部を特別利益に計上したことによるものであります。

### (2) 通期連結業績予想数値の修正について

売上高につきましては、周陽商事株式会社の下半期売上高の見込み額を加えるとともに、他の当社グループにおいて、上半期の実績値を踏まえて、売上高の見直しを行いました。

利益につきましては、現段階におきまして、前回発表予想の際に算定した下半期における利益計上見込み額から大きな変動はない見込みであります。上半期の実績値等を総合的に勘案し、見直しを行いました。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、この数字に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

以上